

ヨハネの黙示録 **イオーアンネースの啓示** (イエス・キリストの啓示←神がお付けになったタイトル) (→ヨハネが書いた黙示録)

◆序文と挨拶

⑩聖書協会共同訳：新共同訳の変更箇所は赤字で表記

1:1 **イエス・キリストの黙示** (→神が命名したタイトル、「の」=が与えた、に関する)。この黙示は、すぐにも起こるはずのこと (→神の御計画) を、**神**がその**僕**たちに示すため**キリスト**にお与えになり、~~それを~~~~して~~キリストがその**天使**を送って**僕ヨハネ**に**知らせたお伝えになった** (=示された) ものである。

イエーエース・クリストスの啓示、(すなわち) 神が彼の下僕たちに、すぐに起こらなければならないことを示すために彼 (クリストス) に与えられたもので、彼 (クリストス) が彼の下僕イオーアンネースにその天使によって**告げさせ給うたもの** (である)、 ⑩青文字：ギリシア語翻訳文 以下同じ

▶ **啓示のプロセス**：神→イエス・キリスト→天使→僕ヨハネ→**試練の中にある信者たち(私たち)**
 (ガブリエル→ガブリエルは重要な場面で登場する(ダニエル書 9:21、ルカ 1:19、1:26))

▶ヨハネの黙示録：イエス・キリストの啓示 (あるいは「啓示録」) →必ず起こる事が公開されている。
 →黙示：人間には隠されていたことを神が幻によって明らかにされること (=神の啓示)、またその内容 =アポカルプシス (ギリシア語)：覆いを取り除く、ベールをはがす。

▶イエス：神 (ヤハウエ) は救い = 「ヨシュア」 (ヘブライ語) →男子の固有名詞

▶キリスト：油注がれた者、油塗られた者→ギリシア語動詞「油を注ぐ (油を擦り付ける) クリオ chrio」が由来 = 「メシア」 (ヘブライ語由来のアラム語) →クリストス、クリストス、クリストゥー (ギリシア語)

▶僕 (しもべ)：仕える人、仕え人

| | | | | |
|---------|------------|---------|--------------------|--|
| 1:1(01) | αποκαλυψις | アポカルプシス | 黙示 | 名詞・主格・単数・女性 |
| 1:1(02) | ιησου | イエス | イエス=ヤハウエハは救い=の | 名詞・属格・単数・男性 |
| 1:1(03) | χριστου | クリストゥー | キリスト=油を塗られた=の | 名詞・属格・単数・男性 |
| 1:1(04) | ην | エイン | それは~もの | 関係代名詞・対格・単数・女性 |
| 1:1(05) | εδωκεν | エドオウケン | [彼が]与えた | 動詞・アオリスト・能動・叙実・三人称・単数 |
| 1:1(06) | αυτω | アウトオウ | 彼に | 人称代名詞・与格・単数・男性 |
| 1:1(07) | ο | オ | それが | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:1(08) | θεος | ゼオス | 神が | 名詞・主格・単数・男性 |
| 1:1(09) | δειξαι | デイクサイ | 示すため | 動詞・アオリスト・能動・不定詞 |
| 1:1(10) | τοις | トイス | それらに | 定冠詞・与格・複数・男性 |
| 1:1(11) | δουλοις | ドゥーロイス | 僕たちに | 名詞・与格・複数・男性 |
| 1:1(12) | αυτου | アウトウ | 彼の | 人称代名詞・属格・単数・男性 |
| 1:1(13) | α | ア | それは~諸々のことを | 関係代名詞・対格・複数・中性 |
| 1:1(14) | δει | デイ | [それは]~べきである | 動詞・現在・非人称能動態・叙実・三人称・単数 |
| 1:1(15) | γενεσθαι | ゲネッサイ | 起こること | 動詞・第二アオリスト・中間デポネント・不定詞 |
| 1:1(16) | εν | エン | ~[に]において | 前置詞 |
| 1:1(17) | ταχει | タケイ | 即刻に | →エン・タケイ：神の時が来たなら、直ちに起こる 名詞・与格・単数・中性 |
| 1:1(18) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:1(19) | εσημανεν | エセイマメン | [彼は]知らせました | 動詞・アオリスト・能動・叙実・三人称・単数 |
| 1:1(20) | αποστειλας | アポステイラス | 使いをやった[者は] | 動詞・アオリスト・能動・分詞・主格・単数・男性 |
| 1:1(21) | δια | ディア | ~[の]者によって | 前置詞 |
| 1:1(22) | του | トゥ | その | 定冠詞・属格・単数・男性 |
| 1:1(23) | αγγελου | アングルー | 天使の | 名詞・属格・単数・男性 |
| 1:1(24) | αυτου | アウトウ | 彼の | 人称代名詞・属格・単数・男性 |
| 1:1(25) | τω | トウ | それに | 定冠詞・与格・単数・男性 |
| 1:1(26) | δουλω | ドゥーロウ | 僕に | 名詞・与格・単数・男性 |
| 1:1(27) | αυτου | アウトウ | 彼の | 人称代名詞・属格・単数・男性 |
| 1:1(28) | ιωαννη | ヨウアンネイ | ヨハネ=ヤハウエハが恵みを与えた=に | 名詞・与格・単数・男性 |

⑩固有名詞等はギリシア語翻訳文 (希和対訳文) の表記 (読み・発音) と異なる場合があります (以下、同じ)。

晩年、ヨハネは、ローマ帝国のドミティアヌス皇帝（第 11 代皇帝、在位：AD81～96）による皇帝礼拝を拒み、イエス・キリストについて宣べ伝えたので、パトモス島に幽閉されていた。
AD81 年に即位したドミティアヌス皇帝は、自分を「主にして神」（dominus et deus：主であり、神である）と称して、ローマ帝国の人々に自分を神として礼拝することを強要した。それを拒否する者は死刑に処すると宣言し、人々は一年に一度、皇帝の像に向かって一握りの香をささげ、「カエザル（皇帝）は主（神）です」と唱えなければならなかった。当時のユダヤ人は人頭税（納税能力に関係なく、全ての国民 1 人につき一定額を課す税金）を支払うことによってその義務から免除されたが、異邦人からキリスト者になった者たちは、死の危険を冒してこの命令を拒絶した。

1:2 ヨハネは、**神の言葉**と**イエス・キリストの**（→「の」=が与えた、に関する）証し、すなわち**自分が見たすべてのこと**を証した。

→ヨハネは神から与えられた幻の象徴的啓示をそのまますべてを書き記した。

彼（イオーアンネース）は**神の言葉とイエス・キリストの証し**、すなわち**彼の見た限りのこと**について証言した。

▶**イエス・キリストの証し**：神から特別の啓示を受けた、ヨハネが見たすべてのもの=ヨハネに与えられた預言の賜物（→**預言の言葉 1：3**） ①1：3 ⇒黙示録 1 章 3 節を表す（以後、同扱い）

→**自分が見たすべて**：イエス・キリストの働きについての神からの特別な啓示（=神の言葉）

→私は天使を拝もうとしてその足もとにひれ伏した。すると、天使は私にこう言った。

「やめよ。私は、あなたやイエスの証しを守っているあなたの兄弟たちと共に、仕える者である。神を礼拝せよ。**イエスの証しは預言の霊**なのだ。」（19：10）

→For it is **the Spirit of prophecy** who bears testimony to Jesus. (New International Version)

※英語版引用聖句および聖句の表記は、原則として New International Version を使用しています。

→すべての預言も、・・・、その目的は、ただ、**イエス様を証言すること**です（リビング・バイブル）。

▶「証しする」は、**殉教の覚悟をもって証言する**という意味もある。

| | | | | |
|---------|-------------|------------|----------------|-------------------------|
| 1:2(01) | ος | オス | その者は | 関係代名詞・主格・単数・男性 |
| 1:2(02) | εμαρτυρησεν | エマルトゥーレイセン | [彼は]証しをしました | 動詞・アオリスト・能動・叙実・三人称・単数 |
| 1:2(03) | τον | トン | それを | 定冠詞・対格・単数・男性 |
| 1:2(04) | λογον | ロゴン | 言葉を | 名詞・対格・単数・男性 |
| 1:2(05) | του | トゥー | その | 定冠詞・属格・単数・男性 |
| 1:2(06) | θεου | ゼウー | 神の | 名詞・属格・単数・男性 |
| 1:2(07) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:2(08) | την | テイン | それを | 定冠詞・対格・単数・女性 |
| 1:2(09) | μαρτυριαν | マルトゥリアン | 証しを | 名詞・対格・単数・女性 |
| 1:2(10) | ιησου | イエイスー | イエス=ヤハウェハは救い=の | 名詞・属格・単数・男性 |
| 1:2(11) | χριστου | クリストウー | キリスト=油を塗られた=の | 名詞・属格・単数・男性 |
| 1:2(12) | οσα | オサ | ～通りの諸々のことを | 相関代名詞・対格・複数・中性 |
| 1:2(13) | ειδεν | エイデン | [彼が]見た | 動詞・第二アオリスト・能動・叙実・三人称・単数 |

【参考】黙示録は・・・

黙示録は、神様の側にある、私たちには分らなかったことを**露わに表**に示しています（黙示録 1：1）。モーセはこう言っています。

「隠されている事柄は、我らの神、主のもとにある。

しかし、啓示されたことは、我々と我々の子孫のもとにとこしえに託されており、この律法の言葉をすべて行うことである。」（申命記 29：28）

1:3 この**預言の言葉**を朗読する者[▲]と、これを聞いて(理解し)⇒中に記されたことを守る者[▲]たち[≡]は、**幸いだ**である。(世界の終わり、イエス・キリストの再臨の)**時**(→カイロス：神の時)が迫っているからである。

この預言の言葉を朗読する人と(それを)聞いてその中に書かれていることを守る人たちは幸いだ！
なぜなら、時が近いから。

▶**預言の言葉**は、ここではイエスから受け取ったヨハネの幻と教えを指す。黙示録は教会の中で朗読するために書かれた。

→聖書をヘブライ語で「ミクラー (Miqla)」というが、これは「(声に出して) 読まれるもの」という意味がある。

▶昔は印刷機がなく、聖書は筆写されていたので非常に高価で貴重であった。

そのため、一人が朗読して、他の者がそれを聞き、聖書を学んだ。

印刷機は、ドイツの金細工師グーテンベルクが1445年頃に印刷機の実用化に成功し、1455年に初めて旧約・新約聖書(ラテン語版)「グーテンベルク聖書」を印刷した。



「グーテンベルク聖書」の1ページ目(出典：ウィキペディア)→

▶聞く：聴従→守り行う(従う)、聞いて理解するという意味もある。

→黙示録は聞くばかりでなく、聞いて理解しなければならない。ダニエル書のように封じられた書物ではなく、聞いた者がそれを理解し、そのメッセージに従うように意図された書物である。

▶時：危機的な時、神の救いの御計画における「終わりの時」を意味する(⇒カイロス)。

→ギリシア語の「時」を表す言葉には、「クロノス」(Chronos)と「カイロス」(Kairos)がある。

①クロノス：絶対的な時間＝過去から未来へと一定速度・一定方向で機械的に流れる連続した時間

②カイロス：相対的な時間＝一瞬や人間の主観的な時間、内面的な時間、意識(感覚)的な時間

| | | | | |
|---------|-------------|-----------|----------------|----------------------|
| 1:3(01) | μακαριος | マカリオス | 幸いな[者](です) | 形容詞・主格・単数・男性 |
| 1:3(02) | ο | オ | それは | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:3(03) | αναγινωσκων | アナギノウスコウン | 読んで理解する[者は] | 動詞・現在・能動・分詞・主格・単数・男性 |
| 1:3(04) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:3(05) | οι | オイ | それらは | 定冠詞・主格・複数・男性 |
| 1:3(06) | ακουοντες | アクーオンテス | 聞く[者たちは] | 動詞・現在・能動・分詞・主格・複数・男性 |
| 1:3(07) | τους | トゥース | それらを | 定冠詞・対格・複数・男性 |
| 1:3(08) | λογους | ログース | 諸々の言葉を | 名詞・対格・複数・男性 |
| 1:3(09) | της | テイス | その | 定冠詞・属格・単数・女性 |
| 1:3(10) | προφητειας | プロフェイテイアス | 預言の | 名詞・属格・単数・女性 |
| 1:3(11) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:3(12) | τηρουντες | テイルーンテス | 守る[者たちは] | 動詞・現在・能動・分詞・主格・複数・男性 |
| 1:3(13) | τα | タ | それらを | 定冠詞・対格・複数・中性 |
| 1:3(14) | εν | エン | ～[に]においてその中に | 前置詞 |
| 1:3(15) | αυτη | アウテエイ | それに | 人称代名詞・与格・単数・女性 |
| 1:3(16) | γεγραμμενα | ゲグラムメナ | 記されている[諸々のことを] | 動詞・完了・受動・分詞・対格・複数・中性 |
| 1:3(17) | ο | オ | それが | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:3(18) | γαρ | ガル | なぜなら～から | 接続詞 |
| 1:3(19) | καιρος | カイロス | 時が | 名詞・主格・単数・男性 |
| 1:3(20) | εγγυς | エングース | 間近(である) | 副詞 |

【参考】 黙示録にある「幸い」

| タイトル(書名) | 章・節:聖句 [検索対象総数:7ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 <幸い>7個] | 43552 (新共同訳) [検索語彙:幸い] |
|-----------|--|------------------------------|
| S ヨハネの黙示録 | 1:3 この預言の言葉を朗読する人と、これを聞いて、中に記されたことを守る人たちは幸いである。時が迫っているからである。 | |
| S ヨハネの黙示録 | 14:13 また、わたしは天からこう告げる声を聞いた。「書き記せ。『今から後、主に結ばれて死ぬ人は幸いである。』」「霊」も言う。「然り。彼らは労苦を解かれて、安らぎを得る。その行いが報われるからである。」 | |
| S ヨハネの黙示録 | 16:15 ——見よ、わたしは盗人のように来る。裸で歩くのを見られて恥をかかないように、目を覚まし、衣を身に着けている人は幸いである。—— | |
| S ヨハネの黙示録 | 19:9 それから天使はわたしに、「書き記せ。小羊の婚宴に招かれている者たちは幸いだ」と言い、また、「これは、神の真実の言葉である」とも言った。 | |
| S ヨハネの黙示録 | 20:6 第一の復活にあずかる者は、幸いな者、聖なる者である。この者たちに対して、第二の死は何の力もない。彼らは神とキリストの祭司となって、千年の間キリストと共に統治する。 | |
| S ヨハネの黙示録 | 22:7 見よ、わたしはすぐに来る。この書物の預言の言葉を守る者は、幸いである。」 | |
| S ヨハネの黙示録 | 22:14 命の木に対する権利を与えられ、門を通して都に入れるように、自分の衣を洗い清める者は幸いである。 | |

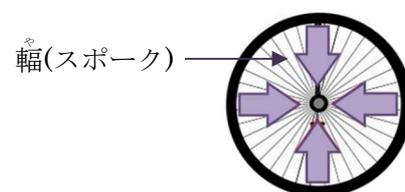
【一言】 僕(しもべ)

僕は、ヘブライ語で「'ebed」(しもべ、奴隷)、「'abad」(奉仕をする、神に仕える、仕事をする、礼拝)という言葉が語源です。

主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住ませ、人がそこを耕し、守るようにされた(創世記 2:15)。この「耕し」という言葉に「'abad」が使われています。エデンの園において、神がアダムに与えられた仕事は、エデンの園の地を耕させ、そこを守らせることでした。このことは「礼拝」と結びついているのです。土地、つまり心の畑を耕し、守ることは私たち人間に与えられた大切な仕事です。

【一言】 黙示録は聖書の「輻」だ！

聖書 66 巻の内、65 巻が、最後の1巻の「黙示録」に向かって来ている。黙示録は聖書の「輻」だ！



【一言】 イスラエル ミニ知識

- ・ 国旗：星は「ダビデの星」で、上下の2本の青の帯は祈禱用の肩掛けを表す。
- ・ 国名：イスラエル国 The State of Israel、メディナット・イスラエル(ヘブライ語)
- ・ 首都：エルサレム Jerusalem
- ・ 国歌：ハ・ティクヴァ (希望)
- ・ 宗教：ユダヤ教 (約 80%)、イスラム教、キリスト教
- ・ 言語：ヘブライ語とアラビア語 (公用語)、イーディッシュ語 (ユダヤ教の正統派の人たちの日常語)
- ・ 通貨：シェケル (Shekel、略号: NIS)、補助通貨単位はアゴラ (Agora)
- ・ 宿泊：ホスピス：キリスト教徒の巡礼客用の宿泊施設
キブツ：仕事や生活を共同で行う制度で、宿泊施設を備えているところも多い。



1:4 ヨハネからアジア州 (→ローマ帝国の政治区分→トルコ共和国のある小アジア) にある七つ (=すべて) の教会へ。①今おられ、かつておられ、やがて来られる方 (→神) から、また、②玉座の前におられる七つの霊 (→聖霊→神の霊が完全に満ち溢れていることを表す) から、5 また、③ (神に対する) 真実 (→忠実) な証人 (→殉教者) にして、~~更に、証人、誠実な方、~~死者の中から最初に生まれた復活した方、地上の王たちの支配者(である)、イエス・キリストから、恵み (→信者に与えられる神の愛) と平和 (→神との正しい関係) があなたがたにあるように。③① (今も) 私たちを愛し (ておられる方)、③②その御自分の血 (→イエスの十字架の血) によって罪から解放してくださった方 (→イエス・キリスト) に、

イオーアンネースがアジアにある七つの教会へ。

(今) おられ (かつて) おられた、そして (やがて) 来られる方から、および彼の玉座の前にいる七つの霊から、および忠実な証人であり、死人の中から最初にお生まれになった方であり、地の王たちの支配者であられるイエス・キリストから、君たちに恩恵と平安とが (あるように)。私たちを愛しておられ、その血によって私たちを私たちの罪から解放し、

▶「私はある。私はあるという者だ」(出エジプト記 3 : 14)

▶七つの教会は、全世界、全時代のすべての教会 (当時はコロサイの教会等もあった) の問題点 (短所) や長所などを代表している。

▶神殿で^{あがな}けられる動物の血には罪を贖う (→償いをする) 力がある、という考えられていた。

| | | | | |
|---------|------------|-----------|--------------------|-----------------------------|
| 1:4(01) | ιωαννης | ヨアンネイス | ヨハネ=ヤハウェハが恵みを与えた=が | 名詞・主格・単数・男性 |
| 1:4(02) | ταις | タイス | それらに | 定冠詞・与格・複数・女性 |
| 1:4(03) | επτα | エプタ | 七つ | 不変化数詞 |
| 1:4(04) | εκκλησιαις | エックレイシアイス | 数ある教会に | 名詞・与格・複数・女性 |
| 1:4(05) | ταις | タイス | それらに | 定冠詞・与格・複数・女性 |
| 1:4(06) | εν | エン | ~[に]においてその中に(ある) | 前置詞 |
| 1:4(07) | τη | テエイ | それに | 定冠詞・与格・単数・女性 |
| 1:4(08) | ασια | アジア | アジアに | 名詞・与格・単数・女性 |
| 1:4(09) | χαρις | カリス | 恵みが | 名詞・主格・単数・女性 |
| 1:4(10) | υμιν | ユミン | あなたたちに | 人称代名詞・二人称・与格・複数 |
| 1:4(11) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:4(12) | ειρηνη | エイレイネイ | 平安が | 名詞・主格・単数・女性 |
| 1:4(13) | απο | アポ | ~から | 前置詞 |
| 1:4(14) | ο | オ | それ | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:4(15) | ων | オウン | 居る[者] | 動詞・現在・無態・分詞・主格・単数・男性 |
| 1:4(16) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:4(17) | ο | オ | それ | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:4(18) | ην | エイン | [彼は]居た | 動詞・未完了・無態・叙実・三人称・単数 |
| 1:4(19) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:4(20) | ο | オ | それ | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:4(21) | ερχομενος | エルコメノス | やって来る[者] | 動詞・現在・中間受動デポネント・分詞・主格・単数・男性 |
| 1:4(22) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:4(23) | απο | アポ | ~から | 前置詞 |
| 1:4(24) | των | トオウン | それらの | 定冠詞・属格・複数・中性 |
| 1:4(25) | επτα | エプタ | 七つ | 不変化数詞 |
| 1:4(26) | πνευματων | プニューマトオウン | 諸々の霊の | 名詞・属格・複数・中性 |
| 1:4(27) | α | ア | それは~もの | 関係代名詞・主格・複数・中性 |
| 1:4(28) | ενωπιον | エノウピオン | ~[の]前に(いる) | 副詞 |
| 1:4(29) | του | トゥー | その | 定冠詞・属格・単数・男性 |
| 1:4(30) | θρονου | スロヌー | 王座の | 名詞・属格・単数・男性 |
| 1:4(31) | αυτου | アウトウー | 彼の | 人称代名詞・属格・単数・男性 |

| | | | | |
|---------|------------|----------|-----------------|-------------------------|
| 1:5(01) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:5(02) | απο | アポ | ～許から | 前置詞 |
| 1:5(03) | ιησου | イエイスー | イエス=ヤハウェハは救い=の | 名詞・属格・単数・男性 |
| 1:5(04) | χριστου | クリストウー | キリスト=油を塗られた=の | 名詞・属格・単数・男性 |
| 1:5(05) | ο | オ | それ | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:5(06) | μαρτυς | マルトウス | 証人 =殉教者 (ギリシア語) | 名詞・主格・単数・男性 |
| 1:5(07) | ο | オ | それ | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:5(08) | πιστος | ピストス | 忠実な[者] | 形容詞・主格・単数・男性 |
| 1:5(09) | ο | オ | それ | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:5(10) | πρωτοτοκος | プロウトトコス | 最初に生まれた[者] | 形容詞・主格・単数・男性 |
| 1:5(11) | των | トウン | それらの | 定冠詞・属格・複数・男性 |
| 1:5(12) | νεκρων | ネクロウン | 死人の[者たちの] | 形容詞・属格・複数・男性 |
| 1:5(13) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:5(14) | ο | オ | それ | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:5(15) | αρχων | アルコウン | 支配者 | 名詞・主格・単数・男性 |
| 1:5(16) | των | トウン | それらの | 定冠詞・属格・複数・男性 |
| 1:5(17) | βασιλεων | バスイレオウン | 王たちの | 名詞・属格・複数・男性 |
| 1:5(18) | της | テイス | その | 定冠詞・属格・単数・女性 |
| 1:5(19) | γης | ゲイス | 地の | 名詞・属格・単数・女性 |
| 1:5(20) | τω | トオウ | それに | 定冠詞・与格・単数・男性 |
| 1:5(21) | αγαπωντι | アガポウンティ | 愛する[者に] | 動詞・現在・能動・分詞・与格・単数・男性 |
| 1:5(22) | ημας | エイマス | 私たちを | 人称代名詞・一人称・対格・複数 |
| 1:5(23) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:5(24) | λυσαντι | ルサンティ | 解放した[者に] | 動詞・アオリスト・能動・分詞・与格・単数・男性 |
| 1:5(25) | ημας | エイマス | 私たちを | 人称代名詞・一人称・対格・複数 |
| 1:5(26) | εκ | エク | ～[の]許から | 前置詞 |
| 1:5(27) | των | トウン | それらの | 定冠詞・属格・複数・女性 |
| 1:5(28) | αμαρτιων | アマルティオウン | 諸々の罪の | 名詞・属格・複数・女性 |
| 1:5(29) | [ημων] | エイモウン | 私たちの | 人称代名詞・一人称・属格・複数 |
| 1:5(30) | εν | エン | ～[に]よって | 前置詞 |
| 1:5(31) | τω | トオウ | それに | 定冠詞・与格・単数・中性 |
| 1:5(32) | αιματι | アイマティ | 血に | 名詞・与格・単数・中性 |
| 1:5(33) | αυτου | アウトウー | 彼の | 人称代名詞・属格・単数・男性 |

【参考】 黙示録にある罪

| | | | |
|---|----------|--|------------------------------|
| | タイトル(書名) | 章・節:聖句 [検索対象総数: 3ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 <罪>3個] | 43557 (新共同訳) [検索語彙: 罪] |
| S | ヨハネの黙示録 | 1:4 -5 ヨハネからアジア州にある七つの教会へ。今おられ、かつておられ、やがて来られる方から、また、玉座の前におられる七つの霊から、更に、証人、誠実な方、死者の中から最初に復活した方、地上の王たちの支配者、イエス・キリストから恵みと平和があなたにあなたにあなたに。わたしたちを愛し、御自分の血によって罪から解放して下さった方に、 | |
| S | ヨハネの黙示録 | 18:4 わたしはまた、天から別の声がかう言うのを聞いた。「わたしの民よ、彼女から離れ去れ。その罪に加わったり、その災いに巻き込まれたりしないようにせよ。 | |
| S | ヨハネの黙示録 | 18:5 彼女の罪は積み重なって天にまで届き、神はその不義を覚えておられるからである。 | |

※「罪」は、聖書中に 1275 回出て来る言葉である。上記の罪は英語版聖書では複数形(sins)となっており、「原罪としての罪(罪の種):単数形 sin」(原義:神のおきてにそむくこと)ではなく、「諸々の罪」である。

【参考】 七つの霊

| | | | |
|---|-----------|--|--------------------------------|
| | タイトル(書名) | 章・節:聖句 [検索対象総数:6ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七つの霊)6個] | 43552 (新共同訳) [検索語彙:七つの霊] |
| S | マタイによる福音書 | 12:45 そこで、出かけて行き、自分よりも悪いほかの七つの霊と一緒に連れて来て、中に入り込んで、住み着く。そうすると、その人の後の状態は前よりも悪くなる。この悪い時代の者たちもそのようになろう。」 | |
| S | ルカによる福音書 | 11:26 そこで、出かけて行き、自分よりも悪いほかの七つの霊を連れて来て、中に入り込んで、住み着く。そうすると、その人の後の状態は前よりも悪くなる。」 | |
| S | ヨハネの黙示録 | 1:4 -5 ヨハネからアジア州にある七つの教会へ。今おられ、かつておられ、やがて来られる方から、また、玉座の前におられる七つの霊から、更に、証人、誠実な方、死者の中から最初に復活した方、地上の王たちの支配者、イエス・キリストから恵みと平和があなたがたにあるように。わたしたちを愛し、御自分の血によって罪から解放してくださった方に、 | |
| S | ヨハネの黙示録 | 3:1 サルデイスにある教会の天使にこう書き送れ。『神の七つの霊と七つの星とを持っている方が、次のように言われる。「わたしはあなたの行いを知っている。あなたが生きているとは名ばかりで、実は死んでいる。」 | |
| S | ヨハネの黙示録 | 4:5 玉座からは、稲妻、さまざまな音、雷が起こった。また、玉座の前には、七つのともし火が燃えていた。これは神の七つの霊である。 | |
| S | ヨハネの黙示録 | 5:6 わたしはまた、玉座と四つの生き物の間、長老たちの間に、屠られたような小羊が立っているのを見た。小羊には七つの角と七つの目があった。この七つの目は、全地に遣わされている神の七つの霊である。 | |

【一言】 挨拶言葉

英語で「ハロー」というように、ギリシア人は「カリス (恵み)」、ユダヤ人は「シャローム (平和)」、ナバタイ人 (アラビア語) は「サラーム (平和・平安)」と挨拶を交わす。

【一言】 黙示録は仏教でいうところの般若心経(Heart Sutra: 心のお経)だ！

般若心経は、僅か 262 字の本文に大乘仏教の心髄(→中枢: 自利利他)が説かれている。神様の神髄(→奥義)が書かれている「黙示録」の聖書に占める割合は、たったの 1.5 %。
 →黙示録文字数 約 26,300 文字 ÷ 聖書の総文字数 約 1,710,000 文字 × 100 ≒ 1.5 %
 黙示録を声に出して読んでも、1.5 時間 位で読めてしまう。
 しかし、黙示録には、神様からの私たちへの深い大切な諭(さと)しが記されている。
 黙示録が、聖書の「輻(や)」であると言われる理由がここにある。

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------------------|------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------------|---------------------|--------------------|----------------------|----------------------|------------------------------|-----------------------|----------------------|--------------|
| 般若心経 | 羯諦羯諦波羅羯諦波羅僧羯諦菩提薩婆訶 | 即說咒曰 | 等咒能除一切苦眞實不虛故說般若波羅蜜多咒 | 若波羅蜜多是大神咒是大明咒是無上咒是無等 | 般若波羅蜜多故得阿耨多羅三藐三菩提故般若 | 有恐怖遠離一切顛倒夢想究竟涅槃三世諸佛依 | 提薩捶依般若波羅蜜多故心無罣礙無所依 | 無老死盡無苦集滅道無智亦無得無所罣礙故 | 乃至無意界無身亦無色聲香味觸法無眼界 | 想行識無眼耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界 | 不生不滅不垢不淨不增不減是故空中無色無受 | 空即是色受想行識亦復如是舍利子色不異空空不異色色即是空受 | 度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空受 | 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空 | 佛說摩訶般若波羅蜜多心經 |
|------|--------------------|------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------------|---------------------|--------------------|----------------------|----------------------|------------------------------|-----------------------|----------------------|--------------|

仏教の經典は「三藏」(さんぞう)に分類されます。
 三藏とは三つの藏、すなわち「經・律・論」(きょう・りつ・ろん)です。
 この「經・律・論」の三藏の知識に勝れた人を、「三藏法師」と言います。
 西遊記で有名な玄奘(げんじょう)三藏、妙法蓮華經の訳で有名な鳩摩羅什(くまろじゅう)三藏などです。
 ・經部=仏の説いた教えで、非常に大量の經典がある。
 ・律部=仏教を学ぶ上で、仏教徒が守らなければならない戒律。「戒」は個人が、「律」は集団が守るべき規則を指す。
 ・論部=經典の解説をした注釈書。仏の弟子が解釈した。
 この三藏の仏教基本図書すべて網羅してあるのが、「大正新修大藏經」(大藏出版)で、百科事典ほどの大きさと100巻余りあります。

【参考】 アジア州:小アジア/アナトリア



アジア州、小アジア（アナトリア）は、北を黒海、西をエーゲ海、南を地中海にはさまれ、東にアルメニア、メソポタミア、シリア地方につながる地域を指し、ほぼ現在のトルコ共和国の半島部にあたる。

「アジア」とは本来、ローマ時代に現在の小アジア（アナトリア）西部の属州の名前であったが、次第にヨーロッパに対して東方世界全体を意味するようになった。そのため本来のアジアを「小アジア」と言って区別するようになった。



黒海から流れ出た水は、ボスポラス海峡を通過していったんマルマラ海に入り、また細長いダーダネルス海峡を通過してエーゲ海の水と一緒に流れる。この二つの海峡とエーゲ海が、アジアとヨーロッパを分ける境界線であった。これらの海峡と海の東側は小アジア、今はアナトリアといわれているトルコ共和国の半島である。

アジアの由来は、BC 8世紀からBC 7世紀の頃、古代メソポタミアのアッシリア人がエーゲ海の東を「アス asu」（＝東、日の出、「エレブ ereb」＝西、日没）と呼び、後に「アス」にラテン語の接尾辞「イア ia」がついて「アジア Asia」の語が生まれたことから来ている。

また、アナトリアはかつてヒッタイト王国、リディア王国が存在し、ペルシア帝国、アレクサンドロス帝国、セレウコス朝、ローマ帝国の支配を受け、BC 4世紀以降は東ローマ帝国の領土となり、それを継承したビザンツ帝国の領土となった。この間、ヘレニズム期からローマ時代まではほぼギリシア文化・ローマ文化が支配的であり、ギリシア人の他、ユダヤ人も多く、キリスト教が最初に広まったのもこの地域であった。

【参考】 イエス・キリストの実在性の証明

▶「この一派の呼び名の起因となったクリストゥスなる者は、ティベリウスの治世下に、元首属吏ポンティウス・ピラトゥスによって処刑されていた。」

「年代記」第15巻 タキトゥス（ローマの歴史家、AD58年頃～120年頃没）より

▶「ユダヤ人は、クレストゥスの煽動により、年がら年中、騒動を起こしていたので、ローマから追放される。」

「ローマ皇帝伝」スエトニウス（ローマの歴史家、AD69年頃～122年以降没）より

→AD49年から50年に、都市ローマで発せられたクラウディウス帝（在位：AD41年～54年）による、ユダヤ人追放令の記述

→クリストゥス＝クレストゥス＝キリスト

▶「過越祭の前日の夕刻、人々はイエスを架けた。・・・略・・・しかし、何ら弁護の申し立てはなかったので、人々はイエスを過越祭の前日の夕刻に架けた。」

「バビロニア・タルムード」サンヘドリン編（ユダヤ教文書）

1:6 ③③私たちが御国（→王国）の民と^し、（口語訳聖書：御国の民とし）③④また御自分御自身の父である神に仕える祭司としてくださった方（→イエス・キリスト）に、栄光と力が世々限りなくありますように、アーメン（→正にそのとおりです）。

私たちが王国（の民）とし、その神である父のために祭司となし給うた方、その方に光栄と権力とが永遠にわたって（あるように）！アーメン。

▶イエスは神のことを父と呼んでいる。イエスにとって、神を父と呼ぶのは、神との特別な関係と神の民を支配する権威を主張することでした。

▶アーメン amen：ヘブライ語、アラム語で「まことに、確かに、そうであるように」。

▶神の栄光の輝き：シャカイナ・グローリー（神の特別な光、目に見える形で現れた神の栄光）

→ヘブライ語で「シャカン（隣人の間に住む）」

▶旧約聖書レビ記に記されているように、動物の血を流すことによる罪の赦し、人々が待ち望んでいた罪の赦しを、主イエス・キリストは、御自分の血をもって成し遂げてくださった（→贖罪の血）。イエス・キリストは私たちが愛し、御自分の血によって私たちが罪から解放してくださったのは、私たちが王とし、御自身の父である神に仕える祭司としてくださるためであった。私たちは罪の奴隷状態から贖い出されて、王国の民、父なる神に仕える祭司とされたのです。

| | | | | |
|---------|-----------|---------|-------------------|-----------------------|
| 1:6(01) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:6(02) | εποιησεν | エポイエイセン | [彼は]しました | 動詞・アオリスト・能動・叙実・三人称・単数 |
| 1:6(03) | ημας | エイマス | 私たちを | 人称代名詞・一人称・対格・複数 |
| 1:6(04) | βασιλειαν | バスイレイアン | 王国に | 名詞・対格・単数・女性 |
| 1:6(05) | ιερεις | イエレイス | 祭司たちに | 名詞・対格・複数・男性 |
| 1:6(06) | τω | トオウ | それに(仕える) | 定冠詞・与格・単数・男性 |
| 1:6(07) | θεω | ゼオウ | 神に | 名詞・与格・単数・男性 |
| 1:6(08) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:6(09) | πατρι | パトリ | 父に | 名詞・与格・単数・男性 |
| 1:6(10) | αυτου | アウトウー | 彼の | 人称代名詞・属格・単数・男性 |
| 1:6(11) | αυτω | アウトオウ | 彼に | 人称代名詞・与格・単数・男性 |
| 1:6(12) | η | エイ | それが | 定冠詞・主格・単数・女性 |
| 1:6(13) | δοξα | ドクサ | 栄光が | 名詞・主格・単数・女性 |
| 1:6(14) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:6(15) | το | ト | それが | 定冠詞・主格・単数・中性 |
| 1:6(16) | κρατος | クラトス | 力が | 名詞・主格・単数・中性 |
| 1:6(17) | εις | エイ | ～[に]向かって(ありますように) | 前置詞 |
| 1:6(18) | τους | トゥース | それらに | 定冠詞・対格・複数・男性 |
| 1:6(19) | αιωνας | アイオウナス | とこしえに | 名詞・対格・複数・男性 |
| 1:6(20) | αμην | アメイン | アーメン(本当に) | ヘブライ語字訳 |

【参考】ペトロの手紙一 2:3～2:5

あなたがたは、主が恵み深い方だということを味わいました。この主のもとに来なさい。主は、人々からは見捨てられたのですが、神にとっては選ばれた、尊い、生きた石なのです。あなたがた自身も生きた石として用いられ、霊的な家に造り上げられるようにしなさい。そして聖なる祭司となって神に喜ばれる霊的ないけにえを、イエス・キリストを通して献げなさい。

【参考】 アーメン、インマヌエル、ハレルヤ、ホサナ

▶ **アーメン** Amen 「本当に」「真にそうです」「然り」「そうありますように」
 →民数記 5:22、申命記 27:15、27:16～26、歴代誌上 16:36、ネヘミア記 5:13、8:6、詩編 41:14、72:19、89:53、106:48、エレミヤ書 11:5、28:6、マルコによる福音書 16:20、ローマの信徒への手紙 1:25、9:5、11:36、15:33、16:27、コリント信徒への手紙 I 14:16、コリント信徒への手紙 II 1:20、ガラテヤの信徒への手紙 1:5、6:18、エフェソの信徒への手紙 3:21、フィリピの信徒への手紙 4:20、テサロニケの信徒への手紙 I 3:13、テモテへの手紙 I 1:17、6:16、テモテへの手紙 II 4:18、ヘブライ人への手紙 13:21、ペトロの手紙 I 4:11、5:11、ペトロの手紙 II 3:18、ユダの手紙 1:25、ヨハネの黙示録 1:6、1:7、3:14、5:14、7:12、19:4、22:20 (以上、50 聖句、56 個)

▶ **インマヌエル** Immanuel 「神はわれらとともに」
 →インマヌ (עִמָּנוּעֵל、Immanu、われらとともにいる) +エル (אל、E1、神)

| タイトル(書名) | 章・節:聖句 | 〔検索対象総数: 4ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (インマヌエル)4個〕 | 43679 (新共同訳) 〔検索語彙: インマヌエル〕 |
|-------------|--------|---|-----------------------------------|
| K イザヤ書 | 7:14 | それゆえ、わたしの主が御自ら／あなたたちにするしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み／その名をインマヌエルと呼ぶ。 | |
| K イザヤ書 | 8:8 | ユダにみなぎり、首に達し、溢れ、押し流す。その広げた翼は／インマヌエルよ、あなたの国土を覆い尽くす。」 | |
| K イザヤ書 | 8:10 | 戦略を練るがよい、だが、挫折する。決定するがよい、だが、実現することはない。神が我らと共におられる(インマヌエル)のだから。 | |
| S マタイによる福音書 | 1:23 | 「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。 | |

▶ **ハレルヤ** Hallelujah 「神をほめたたえよ」
 →詩編 104:35、105:45、106:1、106:48、111:1、112:1、113:1、113:9、115:18、116:19、117:2、135:1、135:21、146:1、146:10、147:1、147:20、148:1、148:14、149:1、149:9、150:1、150:6、ヨハネの黙示録 19:1、19:3、19:4、19:6 (以上、27 聖句、27 個)

▶ **ホサナ** Hosanna 「どうか、救ってください」

| タイトル(書名) | 章・節:聖句 | 〔検索対象総数: 5ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (ホサナ)6個〕 | 43679 (新共同訳) 〔検索語彙: ホサナ〕 |
|-------------|--------|--|--------------------------------|
| S マタイによる福音書 | 21:9 | そして群衆は、イエスの前を行く者も後に従う者も叫んだ。「ダビデの子にホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるように。いと高きところにホサナ。」 | |
| S マタイによる福音書 | 21:15 | 他方、祭司長たちや、律法学者たちは、イエスがなされた不思議な業を見、境内で子供たちまで叫んで、「ダビデの子にホサナ」と言うのを聞いて腹を立て、 | |
| S マルコによる福音書 | 11:9 | そして、前を行く者も後に従う者も叫んだ。「ホサナ。主の名によって来られる方に、／祝福があるように。」 | |
| S マルコによる福音書 | 11:10 | 我らの父ダビデの来るべき国に、／祝福があるように。いと高きところにホサナ。」 | |
| S ヨハネによる福音書 | 12:13 | なつめやしの枝を持って迎えに出た。そして、叫び続けた。「ホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるように、／イスラエルの王に。」 | |

【参考】 父よ

| タイトル(書名) | 章・節:聖句 [検索対象総数: 21ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (父よ)22個] | 43610 (新共同訳) [検索語彙: 父よ] |
|-------------|---|-------------------------------|
| S マタイによる福音書 | 6:9 だから、こう祈りなさい。『天におられるわたしたちの父よ、／御名が崇められますように。』 | |
| S マタイによる福音書 | 11:25 そのとき、イエスはこう言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。」 | |
| S マタイによる福音書 | 11:26 そうです、父よ、これは御心に適うことでした。 | |
| S マタイによる福音書 | 26:39 少し進んで行って、うつ伏せになり、祈って言われた。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」 | |
| S マタイによる福音書 | 26:42 更に、二度目に向こうへ行って祈られた。「父よ、わたしが飲まないかぎりこの杯が過ぎ去らないのでしたら、あなたの御心が行われますように。」 | |
| S マルコによる福音書 | 14:36 こう言われた。「アッパ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」 | |
| S ルカによる福音書 | 10:21 そのとき、イエスは聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。そうです、父よ、これは御心に適うことでした。」 | |
| S ルカによる福音書 | 11:2 そこで、イエスは言われた。「祈るときには、こう言いなさい。『父よ、／御名が崇められますように。御国が来ますように。』」 | |
| S ルカによる福音書 | 16:27 金持ちは言った。『父よ、ではお願いします。わたしの父親の家にラザロを遣わしてください。』 | |
| S ルカによる福音書 | 22:42 「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。』」 | |
| S ルカによる福音書 | 23:34 [そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです。』」人々はくじを引いて、イエスの服を分け合った。 | |
| S ルカによる福音書 | 23:46 イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言って息を引き取られた。 | |
| S ヨハネによる福音書 | 11:41 人々が石を取りのけると、イエスは天を仰いで言われた。「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します。」 | |
| S ヨハネによる福音書 | 12:27 「今、わたしは心騒ぐ。何と言おうか。『父よ、わたしをこの時から救ってください』と言おうか。しかし、わたしはまさにこの時のために来たのだ。」 | |
| S ヨハネによる福音書 | 12:28 父よ、御名の栄光を現してください。」すると、天から声が聞こえた。「わたしは既に栄光を現した。再び栄光を現そう。」 | |
| S ヨハネによる福音書 | 17:1 イエスはこれらのことを話してから、天を仰いで言われた。「父よ、時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現すようになるために、子に栄光を与えてください。」 | |
| S ヨハネによる福音書 | 17:5 父よ、今、御前でわたしに栄光を与えてください。世界が造られる前に、わたしがみもとで持っていたあの栄光を。」 | |
| S ヨハネによる福音書 | 17:11 わたしは、もはや世にはいません。彼らは世に残りますが、わたしはみもとに参ります。聖なる父よ、わたしに与えてくださった御名によって彼らを守ってください。わたしたちのように、彼らも一つとなるためです。」 | |
| S ヨハネによる福音書 | 17:21 父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。」 | |
| S ヨハネによる福音書 | 17:24 父よ、わたしに与えてくださった人々を、わたしのいる所に、共におらせてください。それは、天地創造の前からわたしを愛して、与えてくださったわたしの栄光を、彼らに見せるためです。」 | |
| S ヨハネによる福音書 | 17:25 正しい父よ、世はあなたを知りませんが、わたしはあなたを知っており、この人々はあなたがわたしを遣わされたことを知っています。」 | |

1:7 見よ、この~~その~~方（→イエス・キリスト）が（すべての人を裁く方として、再び、神様の臨在を表す）雲と共に乗って（大いなる力と栄光を帯びて）来られる（→地上再臨）。すべての人の目が彼を仰ぎ見る／≡ことに（→殊に：特に）、彼を突き刺した者たち（→イエスを十字架につけたユダヤ人とローマ人だけではなくて、イエスを信じる者を今も迫害している者たち）~~ども~~は。（イエスを信じないすべての）地上の部族諸民族は皆、彼のために（→イエスによって裁きを受けなければならないゆえに）嘆き悲しむ。（しかし、キリストを信じる者たちにとって、その日は悲しみの日ではなく、喜びの日である。主イエスが教会を迫害する者たちを裁くために来られる。これは、迫害の中にある教会にとって力強い慰めである。）然り、アーメン。

見よ、彼は雲に包まれて来られる、そしてすべての眼が、特に彼を刺し通した人びとが彼を見るであろう。そして地のすべての民族は彼のために胸を打つであろう。その通りだ、アーメン。

▶来られる：地上再臨→ヨハネにとって、再臨は既に起こっている状態にあるため、時制は未来形ではなく現在形で記されている。

→地上再臨の預言：ダニエル書 7：13、マタイによる福音書 24：30、26：64、マルコによる福音書 13：26、14：62、ルカによる福音書 21：27

▶キリストの再臨に伴う最後の審判で、人々は神に反逆して来たことが誤りと破滅であったことを知って、驚愕し、嘆くことになる（20：7～15）。

▶アーメン：ヘブライ語、アラム語で「まことに、確かそうであるように」。

| | | | | |
|---------|-------------|-----------|-------------------|---------------------------|
| 1:7(01) | ἰδοὺ | イドゥー | [あなたは]見なさい | 動詞・第二アオリスト・能動・命令・二人称・単数 |
| 1:7(02) | ἐρχεται | エルクタイ | [彼が]来ます | 動詞・現在・中間受動デポネント・叙実・三人称・単数 |
| 1:7(03) | μετα | メタ | ～[の]中において | 前置詞 |
| 1:7(04) | των | トォウン | それらの | 定冠詞・属格・複数・女性 |
| 1:7(05) | νεφελων | ネフェロウン | 諸々の雲の | 名詞・属格・複数・女性 |
| 1:7(06) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:7(07) | οψεται | オプセタイ | [それは]見ることになります | 動詞・未来・中間デポネント・叙実・三人称・単数 |
| 1:7(08) | αυτον | アウトン | 彼を | 人称代名詞・対格・単数・男性 |
| 1:7(09) | πας | パス | ことごとくの[ものは] | 形容詞・主格・単数・男性 |
| 1:7(10) | οφθαλμος | オフサルモス | 目は | 名詞・主格・単数・男性 |
| 1:7(11) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:7(12) | οιτινες | オイティネス | ～者たちは | 関係代名詞・主格・複数・男性 |
| 1:7(13) | αυτον | アウトン | 彼を | 人称代名詞・対格・単数・男性 |
| 1:7(14) | εξεκεντησαν | エクセクンテイヤン | [彼等は]突き刺した | 動詞・アオリスト・能動・叙実・三人称・複数 |
| 1:7(15) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:7(16) | κοπονται | コブソントアイ | [彼等は]嘆き悲しむことになります | 動詞・未来・中間デポネント・叙実・三人称・複数 |
| 1:7(17) | επι | エプ | ～[に]おいてその故に | 前置詞 |
| 1:7(18) | αυτον | アウトン | 彼に | 人称代名詞・対格・単数・男性 |
| 1:7(19) | πασαι | パサイ | 全ての[者たちは] | 形容詞・主格・複数・女性 |
| 1:7(20) | αι | アイ | それらは | 定冠詞・主格・複数・女性 |
| 1:7(21) | φυλαι | フライ | 種族たちは | 名詞・主格・複数・女性 |
| 1:7(22) | της | テイス | その | 定冠詞・属格・単数・女性 |
| 1:7(23) | γης | ゲイス | 地の | 名詞・属格・単数・女性 |
| 1:7(24) | ναι | ナイ | その通りです | 離接助詞 |
| 1:7(25) | αμην | アメイン | アーメン(本当に) | ヘブライ語字訳 |

1:8 ~~神である主~~、今おられ、かつておられ、やがて来られる方、全能者（→歴史を貫いている万物の支配者）である神、主がこう言われる。

「私はアルファであり、オメガである。」

⑧太字：イエスの言葉部分（以後、同じ）

>

‘I am the Alpha and the Omega,’ says the Lord God, ‘who is, and who was, and who is to come, the Almighty.
→本来は主なる神が言われる神のご性質を神に代わり、イエス・キリストが代弁している。

「私はアルファでありオメガである」と、(今) おられ、(かつて) おられた、そして、(やがて) 来られる方、全能者なる神なる主は言われる。

▶ユダヤ教では、神の名前を大切にあまり、「神」「ヤハウエ」を「主」という言葉で読み替えた。
→キリスト教でもこれをそのまま受け継いで「主= Lord」としている。

▶ギリシア語のアルファベットの最初と最後の文字は、物事の最初と最後を表現するために使われた。
→「アルファ」：初め、「オメガ」：終わり

▶神は歴史の唯一の支配者であり、すべてを始められた方、創造された方であり、すべてを終わりにされる方、完成される方である。神は、イエス・キリストを天から遣わされるという仕方、この世界を完成される。

▶預言者イザヤは、神の完全さと全体性を表すために同様の表現を使っている。

→イザヤ書 44：6

イスラエルの王である主／イスラエルを贖う万軍の主は、こう言われる。私は初めであり、終わりである。私をおいて神はない。

→イザヤ書 48：12

ヤコブよ、私に耳を傾けよ。私が呼び出したイスラエル。私は神、初めでありまた終わりであるもの。

▶ローマの信徒への手紙 11：36

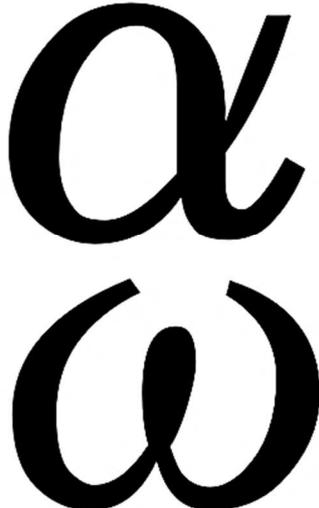
すべてのものは、神から出て、神によって保たれ、神に向かっているのです。栄光が神に永遠にありますように、アーメン。

| | | | | |
|---------|-------------|-----------|-----------|-----------------------------|
| 1:8(01) | εγω | エゴウ | 私は | 人称代名詞・一人称・主格・単数 |
| 1:8(02) | ειμι | エイミ | [私は]~です | 動詞・現在・無態・叙実・一人称・単数 |
| 1:8(03) | το | ト | それ | 定冠詞・主格・単数・中性 |
| 1:8(04) | αλφα | アルファ | アルファ | 不変化名詞 |
| 1:8(05) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:8(06) | το | ト | それ | 定冠詞・主格・単数・中性 |
| 1:8(07) | ω | オウ | オメガ | 不変化名詞 |
| 1:8(08) | λεγει | レゲイ | [彼は]言います | 動詞・現在・能動・叙実・三人称・単数 |
| 1:8(09) | κυριος | クリオス | 主は | 名詞・主格・単数・男性 |
| 1:8(10) | ο | オ | それは | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:8(11) | θεος | ゼオス | 神は | 名詞・主格・単数・男性 |
| 1:8(12) | ο | オ | それは | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:8(13) | ων | オウン | 居る[者は] | 動詞・現在・無態・分詞・主格・単数・男性 |
| 1:8(14) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:8(15) | ο | オ | それは | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:8(16) | ην | エイン | [彼は]居た | 動詞・未完了・無態・叙実・三人称・単数 |
| 1:8(17) | και | カイ | そして | 接続詞 |
| 1:8(18) | ο | オ | それは | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:8(19) | ερχομενος | エルコメノス | やって来る[者は] | 動詞・現在・中間受動デボネント・分詞・主格・単数・男性 |
| 1:8(20) | ο | オ | それは | 定冠詞・主格・単数・男性 |
| 1:8(21) | παντοκρατωρ | パントクラトオウル | 全能者は | 名詞・主格・単数・男性 |

【参考】 私はアルファであり、オメガである。(→黙示録のみの表現)

| | | | |
|---|----------|--|-------|
| | タイトル(書名) | 章・節:聖句 [検索対象総数: 3ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (アルファ)3個(オメガ)3個] (新共同訳) [検索語彙: アルファ・オメガ] | 43475 |
| S | ヨハネの黙示録 | 1:8 神である主、今おられ、かつておられ、やがて来られる方、全能者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。」 I am the Alpha and the Omega, says the Lord God, who is, and who was, and who is to come, the Almighty. →本来は主なる神が言われる神のご性質をイエス・キリストが代弁している | |
| S | ヨハネの黙示録 | 21:6 また、わたしに言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。渴いている者には、命の水の泉から価なしに飲ませよう。 | |
| S | ヨハネの黙示録 | 22:13 わたしはアルファであり、オメガである。最初の者にして、最後の者。初めであり、終わりである。 | |

| 大文字 | 小文字 | 名前 | | 大文字 | 小文字 | 名前 | |
|-----|-----|---------|-------|-----|-----|---------|-------|
| A | α | alpha | アルファ | N | ν | nu | ニュー |
| B | β | beta | ベータ | Ξ | ξ | xi | クサイ |
| Γ | γ | gamma | ガンマ | Ο | ο | omicron | オミクロン |
| Δ | δ | delta | デルタ | Π | π | pi | パイ |
| E | ε | epsilon | イブシロン | Ρ | ρ | rho | ロー |
| Z | ζ | zeta | ゼータ | Σ | σ | sigma | シグマ |
| H | η | eta | イータ | Τ | τ | tau | タウ |
| Θ | θ | theta | シータ | Υ | υ | upsilon | ユブシロン |
| I | ι | iota | イオタ | Φ | φ | phi | ファイ |
| K | κ | kappa | カツパ | Χ | χ | chi | カイ |
| Λ | λ | lambda | ラムダ | Ψ | ψ | psi | プサイ |
| M | μ | mu | ミュー | Ω | ω | omega | オメガ |



神の僕であるヨハネ John は、ギリシア語のアルファベットの最初の文字である「アルファ (the Alpha)」と最後の文字である「オメガ (the Omega)」を、物事の最初(創始)と最後(完成)を表現するために使った。

また、ヨハネは、イエス・キリストを「最初の者」(the First)「最後の者」(the Last)と表現している。

▶私は最初の者にして最後の者、また生きている者である(黙示録 1 : 17d~18a)。

▶最初の者にして、最後の者である方、一度死んだが、また生きた方が、・・・(黙示録 2 : 8b)。

預言者イザヤは、神の完全さと全体性を表すために同様の表現を使っている(イザヤ書 44 : 6、48 : 12)。イザヤは、「初め (the first) であり、終わり (the last) である」を使うことで、時間、世界に対する神の統治と神の唯一性を述べている。

▶イスラエルの王である主/イスラエルを贖う万軍の主は、こう言われる。私は初めであり、終わりである。私をおいて神はない。(イザヤ書 44 : 6)

‘This is what the Lord says – Israel’s King and Redeemer, the Lord Almighty:

I am the first and I am the last; apart from me there is no **God**.

▶ヤコブよ、私に耳を傾けよ。私が呼び出したイスラエル。私は神、初めでありまた終わりであるもの。(イザヤ書 48 : 12)

‘Listen to me, Jacob, Israel, whom I have called: **I am he** (NKJV: **I am He**);

I am the first and I am the last.

↑
申命記 32 : 39

※【黙示録】は、【神の僕たち】に示すために、すぐにも起こるはずのことを、【神】が【キリスト】にお与えになり、キリストが【天使】を送って、僕【ヨハネ】にお伝えになったものである。